

御船層群の上部は、河川や湖沼で形成された地層だと考えられています。この地層からは淡水生の二枚貝や植物化石、恐竜の足跡化石など、陸上の環境を示す化石が多く発見されています。この地層ができた当時の河川には、アミアのなかまが住んでいました。頑丈な顎の骨、鋭い三角形の歯、独特な形をした背骨が特徴で、アミアの中でも北米の白亜紀層から知られているメルビウスによく似ています。このような種類の魚類化石はこれまでアジアの白亜紀層からは発見されていませんでした。

アミアはガーのなかま（恐竜時代への旅第10話で紹介）に近い、いわゆる古代魚で、現在は北アメリカのみに生息しています。最近、このメルビウスと見られる化石はマダガスカルでも発見されて、世界中に広く分布していた可能性が指摘されています。また、アフリカよりもさらに高緯度に位置する地域からもガーやアミアのなかまの化石が発見されています。このことは、白亜紀後期の前半には地球全体が温暖化していたことを示しています。このころの北アメリカ西部には南北に浅い海が入り込んでいて、北極海とカリブ海が海でつながっていたと考えられています。もしかすると、御船付近の浅い海も北極海を通じて北米までつながっていたのかもしれない。（文・写真／恐竜博物館・池上直樹）

恐竜時代への旅

第15話

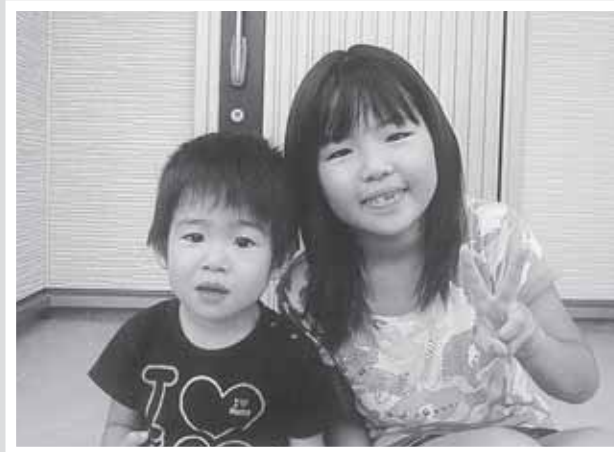
淡水魚 アミアのなかま



DATA

御船層群から発見されたメルビウスの下あごの化石（右）と発見された部分。大きさ約5センチ。

子育て日記



長女・瑠奈ちゃん（7歳・右）
長男・太一くん（2歳・左）

年の差も何のその？

わが家は、父、母、長女・瑠奈、長男・太一の4人家族です。年の離れた姉弟ですが、最近では弟がお姉ちゃんのゲームやおもちゃが気になるらしく「コレしたいの！」と奪いに行きます。お姉ちゃんも取られまいと必死で姉弟ゲンカに…。でも仲の良い時は絵本を読んであげたり、弟の知っている曲をピアノで弾いて一緒に歌ってあげたりと良きお姉ちゃんなんです。この前は弟のコンビカーにまたがり後ろから押してもらい部屋中を大暴走していたお姉ちゃん。「どっちが遊んでもらっているの？」と思わず笑ってしまいました。両親共に仕事が多く、休日が合わなかったりしますが、できるだけ家族一緒に過ごせる時間を増やしてたくさんの思い出を作ってあげたいと思います。これからも姉弟仲良く元気にスクスクと成長してくれたらと願っています。

（文・写真／萩坂美恵お母さん・高木）

Book

おすすめ 今月の本

一週間

井上ひさし 著

最後の長編小説。昭和21年、ハバロフスクの収容所。ある日本人捕虜の、いちばん長い一週間。「吉里吉里人」に比肩する面白さ！



終わらざる夏 上・下

浅田 次郎 著

できることはもう何もない。戦場を走るほかには。たとえそこが、まやかしの戦場でも。美しい島であの夏何が起こったのか。人間の本性に迫る戦争巨編、堂々完結。



新刊書情報

7月は58冊の本が入りました

●一般書（36冊）	
小説／マドンナ・ヴェルデ	（海堂 尊 著）
自然科学／「ストレスの整理」が上手い人下手な人	（和田 秀樹 著）
人生訓／まっすぐな生き方	（木村 耕一 著）
●児童書（22冊）	
よみもの／まけるな！キジバト	（五刀 円 著）
学習／わたしの病院・犬がくるの	（大塚 敦子 著）
紙芝居／ネコのおてがみ	（長野ヒデ子 著）

ことばかくれんぼ

山口 タオ 著
田丸 芳枝 絵

これからことばかくれんぼをするよ。ことばの中にはみんながかくれているからさがしてね。楽しいことば遊び絵本。



健康へのヒント



夏バテの原因に迫る！

夏に起こりやすい身体の症状といえば「夏バテ」。軽視して、放置するとほかの病気を引き起こす原因にもなります。今回は、夏場に注意したい4つのことをお知らせします。

1 水分の過剰摂取で食欲低下

夏場は、のどの渇きから水分を摂取する量が増えます。しかし、水分を取りすぎると胃酸を水分が薄めてしまい、せっかく取った食事也十分消化されず栄養が体内に取り入れられなくなってしまう。さらに冷たいものは胃への負担がかり、食欲が低下する原因となります。

2 食欲の低下で栄養不足に

暑くなると、神経や筋肉の動きを支えるビタミンB1の消耗が激しくなります。食欲がなくなるとビタミンB1をはじめエネルギー代謝に欠かせない、ビタミンやミネラル類の

3 気温差で自律神経が低下

真夏の路面温度は50℃にも達し、その照り返しから路上も35℃以上に上昇します。当然のことですが、冷房のきいた部屋とは相当な温度差が生じます。夏の暑さから屋内へ逃避すると、その気温差で身体の調節機能がうまく働かなくなり、自律神経までも障がいが出てしまいます。

4 睡眠不足で蓄積疲労

熱帯夜になるとなかなか寝つけずに、その夜更かしから身体への疲労が蓄積していきます。そんな生活習慣が続くと、自律神経系の調節機能が働かなくなり、身体がだるくなる倦怠感をまねきます。

摂取不足で疲れやすくなります。

また、ビタミンB1は水に溶けやすいため水分を取ると余計に不足してしまいます。

19